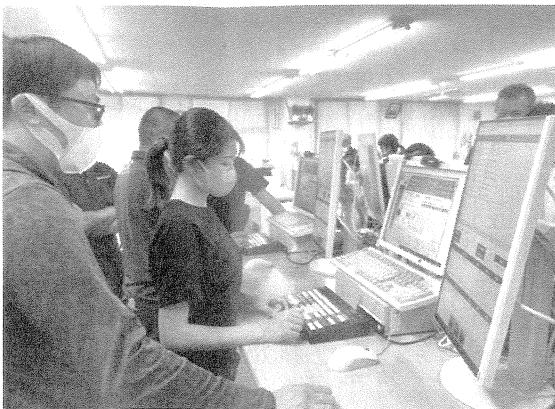


**手セリ→在宅セリ**

効率化・労働環境改善へ

セリは事務所内の小スペースで開催。セリ時間は短くなり、参加者は増加。6時には発送である。



# 姫路生花がシステム変更

(株)姫路生花卸売市場  
(柴山栄一社長)はセリ

7月10日から在宅セリを開始した。同社は2021年の取扱高が116億円で全国5位の大手市場。大手市場の大半で機械セリが導入されている中、手セリを行つてい

事務所でセリノガ禁菓を操作。新入社員もセリ人を務める

た。コロナ禍の影響、物流問題、労務環境等の課題があり、課題を改革のチャンスととらえ、手を取りながら機械セリを飛ばして在宅セリを導入した。

体を見る1人の5人態勢でセリを行えるようになつた。荷捌ぎなど裏で人が動くが、セリだけで見ると人数を大幅に削減。セリ人は新人社員も務められるようにした。

の変更だったので大変な部分もあつたが、導入前に買参人には細かく説明、練習してもらつた。多くの買参人は在宅で購入でき、喜んでもらつてゐるという。

中心となって3年前からシステム開発に取り掛かってきた。同社は約9割がセリ前に販売されており、セリに参加する貢献人も減少。残りのセリ分に人員や時間など大きな労力を割いていることを考え、DX化することで、効率化、労働環境の改善などにつなげた。

体制。セリにかかるつていた時間を持ての業務に振り分けられるよつになつた。手ゼリ時にはオペレーターは場セリに合わせて早朝出勤していたが、新セリシステム導入で8時出勤17時退社と労務環境が改善。長時間労働など人が集まりにくいつが、人材不足の問題にも対応した。

セリは日・火・木曜日  
の18時からスタート。W  
EB販売が17時に終わ  
り、その後のセリに買參  
人は連続して参加しての  
購入が可能となった。

手セリから在宅セリへ  
の変更だったので大変な  
部分もあつたが、導入前  
に買参人には細かく説  
明、練習してもらつた。  
多くの買参人は在宅で購  
入でき、喜んでもらつて  
いるという。